

ゼロ戦52型 ラジコン飛行機

ヤンマー農機第一期生OB 竹原巧

入社間もない昭和40年代、淀川の河原で誰かがゼロ戦を飛ばしていた。当時無線操縦で飛行機が飛ばせるなんて想像も出来なかったので暫く見惚れていた。その時に”僕もゼロ戦を飛ばしたい”と思った。食費を削って無線機を買った。いきなり飛行機は無理なのでポートから始めたが直ぐ飛行機に変更した。丁度その頃結婚、幸い妻は理解してくれたがそれに甘え、どれ程のお金と、工数や時間を投入したことが……殆ど我流で覚えざるを得ない環境下で、行くたびに何処かを壊して修理する時期が長く続いたが、何とか離着陸まで無事にできるレベルになった。そして数年前から長年の念願であったゼロ戦に取り掛かった。ここに紹介するゼロ戦の前に小型ゼロ戦を3機製作したが、実機の模型化された機体は操縦が難しく、残念ながら特攻隊の如く短命に終わった。ゼロ戦の集大成として、コクピットや尾輪の引込、機銃等でスケール化を目指しほぼ満足な出来上がりとなった。この大型ゼロ戦で、淡路、松坂、笠岡に遠征して飛行を楽しんでいる。

たまらなく興奮する低速ローパスの迫力ある瞬間



コクピットと隊員



淡路島の模型飛行場にて(初出航の前) 翌長約1.8m (2009年9月完成)



ラジコン歴通算約40年、今までに製作した飛行機は約40機にのぼる。入門機からスポーツ機、スタント練習機から本格的なスタント機、曲技機そしてスケール戦闘機。多様な飛行機を製作してきたが、飛行場の規制により場所も限定されて来た昨今、昨年から琵琶湖で水上機を楽しんでいる。

F4J ファントム (笠岡)

(2007年5月 P-51D MUSTANG)

(琵琶湖上エンジン2基搭載の水上機)

